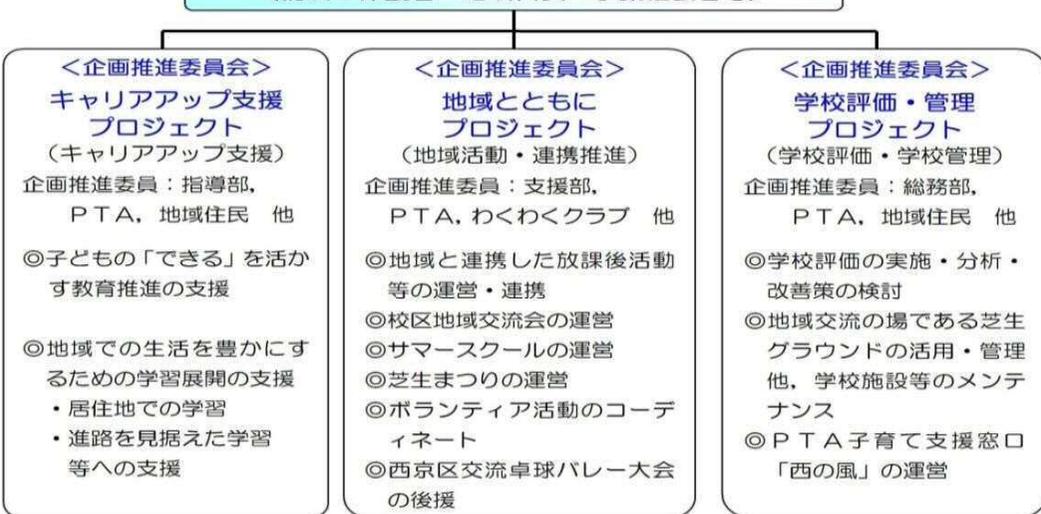


新たな地域の創造 ～学びと育みの場づくり～（京都市立西総合支援学校）

特別支援学校におけるコミュニティ（地域）とは

京都市立西総合支援学校では、コミュニティを、「学校がある地域と子供たちが暮らしている地域の人々の集い（ローカルコミュニティ）」と、「校区に限らず、障害のある人たちが住みやすい街づくりを目指す人々の集い（テーマコミュニティ）」の2つであると捉え、障害のある子供たちが積極的に参加・貢献していくことができる「共生社会」の実現を目指して、「連携・協働」と「双方向の援助」による市民ぐるみ・地域ぐるみの学校づくりを行っている。

京都市立西総合支援学校 学校運営協議会 （構成：保護者・地域代表・学識経験者等）



コミュニティ・スクールの取組の成果（一部）

- ◆学校にとって
特別支援学校のことを地域に知ってもらうことで地域が学習の場となった。
- ◆保護者にとって
地域の方や学識者、福祉関係者にも相談できる場があり、自分たちの応援団ができたようで心強い。
- ◆地域住民にとって
学校の教育方針や取組がよくわかり、ボランティアとして協力しやすくなった。
- ◆子供たちにとって
子供たちの障害を理解していただき、住みやすい地域づくりの着実な第一歩となっている。

学校にとっての2つのコミュニティ

企画・運営

- ①学校がある地域と子供たちが暮らしている地域の人々の集い



- ②校区に限らず、障害のある人たちが住みやすい街づくりを目指す人々の集い

小・中学校の学校運営協議会との連携

学校で 開催

- 校区地域交流会の運営
- サマースクールの運営
- 芝生まつりの運営
- 啓発リーフレットの作成
- ボランティア養成講座

居住地域で 開催

- わくわくクラブの運営
- 光華子ども遊び隊への協力
- にこにこクラブの運営



芝生まつり

※本校が、障害のある人と地域住民の方々との交流の拠点となることを目指して開催



わくわくクラブ

※居住地域の小学校の教室等を借りて様々な放課後の活動を実施